

●株主メモ

事業年度 毎年6月1日から翌年5月31日まで
定時株主総会 毎年8月
基準日 定時株主総会の基準日 毎年5月31日
期末配当の基準日 毎年5月31日
なお、中間配当を実施するときの基準日は11月30日です。
その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
(電話照会先) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。

単元株式数 100株
証券コード 3321
上場金融商品取引所 東京証券取引所市場第一部、名古屋証券取引所市場第一部
公告方法 電子公告を当社ホームページにて行います。
やむを得ない事由による場合は日本経済新聞に掲載し、公告いたします。
公告掲載アドレス (<http://www.mitachi.co.jp/ir/ir-official.htm>)

・住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

・未払配当金の支払いについて
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

・「配当金計算書」について
配当金支払いの際送付している「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付書類としてご使用いただくことができます。ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付書類につきましては、お取引の証券会社にご確認をお願いします。なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。
*確定申告をなされる株主様は、大切に保管ください。



株主の皆様へ

ミタチ産業グループのさらなる伸展に向け
グローバル展開を加速してまいります代表取締役社長
橘 至朗

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

ミタチ産業グループはグローバル展開の加速を経営方針の1つとして掲げておりますが、この第2四半期は特に海外拠点の業績への貢献が目立ちました。やはり海外拠点の拡充・展開エリアの拡大が今後のミタチ産業グループのさらなる伸展には必要不可欠とあらためて感じております。昨年9月には新たにタイに現地法人を設立いたしました。今後もインドネシアをはじめとしてグローバル展開をさらに推進していきたいと考えております。

周辺環境はまさに激変の真ただ中ではありますが、このような変化の時は新たなニーズが生まれる時であり、最大のチャンスでもあります。様々な経験をさらなる飛躍に向けての糧としつつ、次なるステージ・目標に向かい全社一丸となって努力していきたいと考えております。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

営業の概況

<営業概況>

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益に持ち直しの動きがみられたほか、復興需要等を背景に設備投資が緩やかながらも増加基調を維持し、また個人消費も底堅く推移してまいりました。しかしながら海外景気の減速等を背景として、ここのところ弱い動きもみられるようになってまいりました。

このような経済状況のもと、当社グループの主要取引先である自動車分野につきましては、政府の需要刺激策の反動減等もあり、車載機器関連向け商材の販売が減少いたしました。民生分野につきましては、光半導体の受託生産の受注が減少いたしました。アミューズメント分野につきましては、営業努力による新規案件の獲得等もあり販売が増加いたしました。その他の分野につきましては、工作機械向け組付け受注や製造関連装置向けの部材販売が減少したものの、販路の拡大等もあり売上が増加いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は165億19百万円（前年同四半期比12.9%減）、利益につきましては、売上構成の変化にともなう売上原価の減少や諸経費の抑制に加え、ミナミ株式会社に対する貸倒引当金の計上がなくなったこともあり、営業利益は3億34百万円（前年同四半期は営業損失67百万円）となりました。またミナミ株式会社に対する債権の回収の進展にともなう貸倒引当金戻入額を営業外収益として計上したこともあり、経常利益は4億57百万円（前年同四半期は経常損失12百万円）、四半期純利益は3億11百万円（前年同四半期は四半期純損失1億99百万円）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

- ① 国内事業部門
車載機器関連向け商材の販売が減少したほか、工作機械向け組付け受注が減少したこともあり、連結売上高は92億64百万円（前年同四半期比21.0%減）となりました。一方売上構成の変化にともなう売上原価の減少や諸経費の抑制に加え、ミナミ株式会社に対する貸倒引当金の計上がなくなったこともあり、営業利益は3億84百万円（前年同四半期は営業損失44百万円）となりました。
- ② 海外事業部門
光半導体の受託生産の受注が減少したものの、海外展開の拡充等からアミューズメント分野向けの販売などが増加し、連結売上高は72億54百万円（前年同四半期比0.1%増）となりました。一方売上原価や諸経費の増加等もあり、営業利益は1億90百万円（前年同四半期比13.9%減）となりました。

<利益配分>

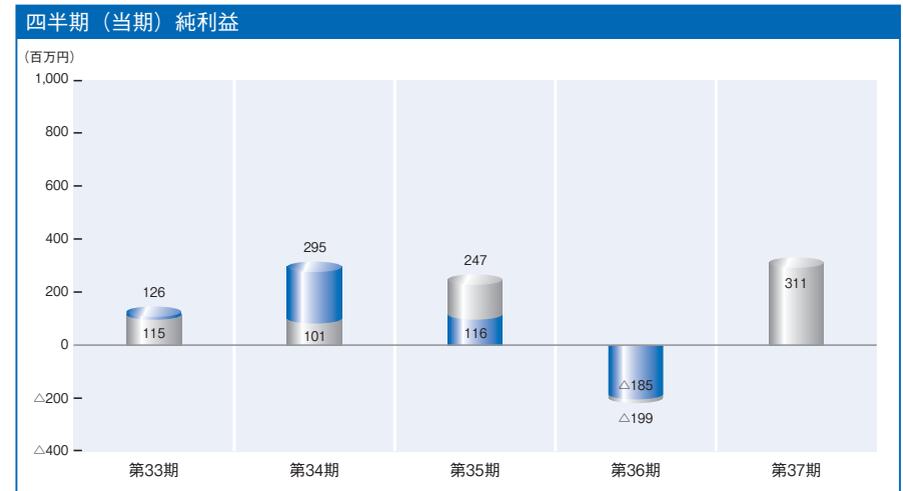
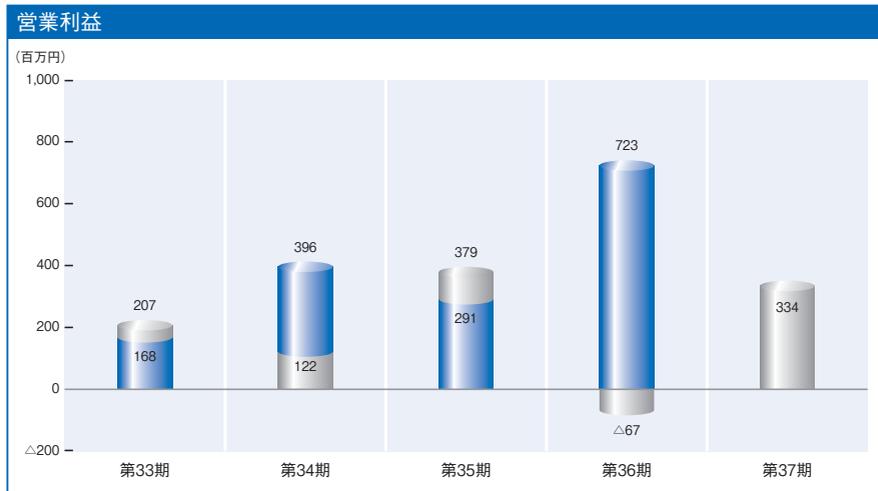
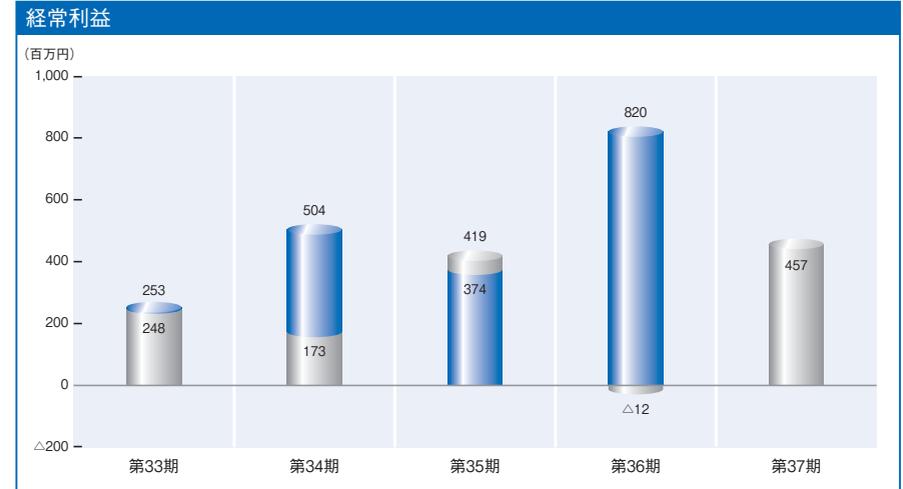
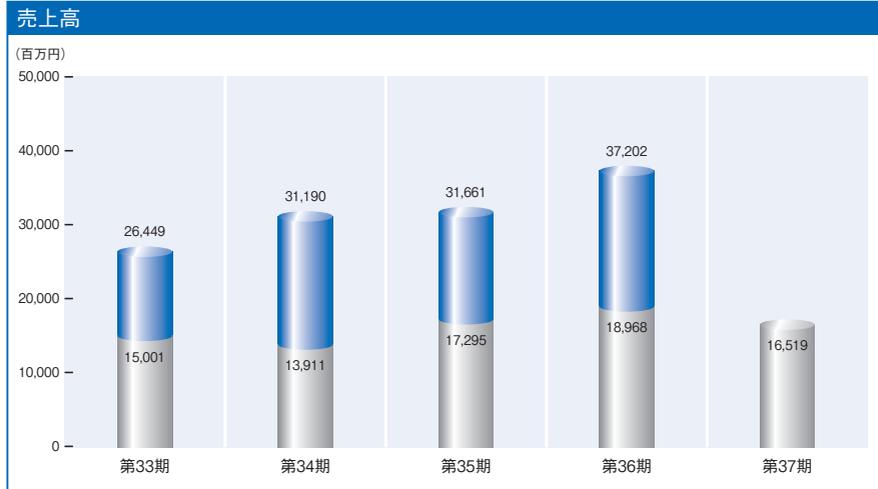
当中間期の利益配分につきましては、1株当たり7円の配当を実施することを決定いたしました。

なお、年間配当につきましては、1株当たりの年間配当金14円（期末配当金7円）を予定しております。



連結財務ハイライト

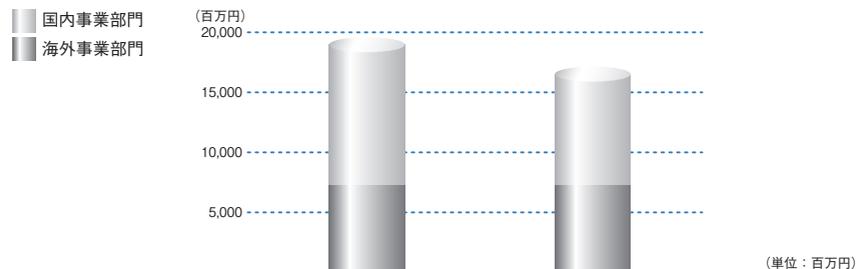
■ 当期
■ 第2四半期累計





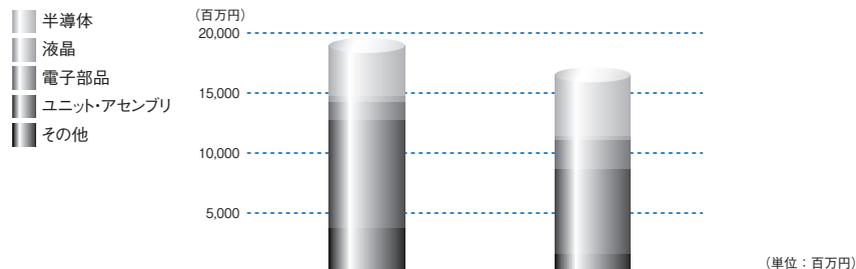
セグメント別・品目別連結売上高

セグメント別売上高



セグメント	期	前第2四半期	当第2四半期	前年同四半期比
国内事業部門		11,723	9,264	79.0%
海外事業部門		7,245	7,254	100.1%
合計		18,968	16,519	87.1%

品目別売上高



品目	期	前第2四半期	当第2四半期	前年同四半期比
半導体		4,259	5,164	121.2%
液晶		458	325	70.9%
電子部品		1,537	2,431	158.2%
ユニット・アセンブリ		9,011	7,025	78.0%
その他		3,702	1,572	42.5%
合計		18,968	16,519	87.1%

会社概要

●会社の状況（平成24年11月30日現在）

会社名 ミタチ産業株式会社
 本社所在地 名古屋市中区伊勢山二丁目11番28号
 設立年月日 昭和51年7月2日
 資本金 5億2,160万円
 従業員数 533名（連結）
 129名（単体）

取締役および監査役（平成24年11月30日現在）

代表取締役社長 橘 至 朗
 専務取締役 井 上 銀 二
 常務取締役 奥 村 浩 文
 常務取締役 橘 和 博 也
 取締役 大 島 卓 也
 常勤監査役 西 山 重 正
 社外監査役 清 水 哲 二
 社外監査役 伊 藤 嘉 量

●事業所（平成24年12月1日現在）

本社（名古屋市中区）
 三河支店（愛知県岡崎市）
 東京支店（東京都品川区）
 関西支店（京都市下京区）
 浜松営業所（浜松市中区）

●連結子会社（平成24年11月30日現在）

（国内1社）
 大洋電機株式会社
 （海外5社）
 M.A.TECHNOLOGY,INC.
 美達奇（香港）有限公司
 台湾美達旗股份有限公司
 敏拓吉電子（上海）有限公司
 美達奇電子（深圳）有限公司

●非連結子会社（平成24年11月30日現在）

MITACHI (THAILAND) CO.,LTD.

●株式の状況（平成24年11月30日現在）

発行可能株式総数 16,000,000株
 発行済株式の総数 7,350,000株
 株主数 3,133名
 大株主

株主名	持株数	持株比率
	株	%
株式会社J U	1,844,800	25.10
ミタチ産業従業員持株会	318,250	4.33
橘 至 朗	316,700	4.31
株式会社三菱東京UFJ銀行	250,000	3.40
井 上 銀 二	220,000	2.99
井 上 佐 恵 子	180,000	2.45
岩 成 一 郎	165,000	2.25
山 内 昭 雄	165,000	2.25
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社（信託口）	116,700	1.59
野 中 光 夫	110,000	1.50

（注）持株比率は自己株式（404株）を控除して計算しております。